

／みるべえ／

30

# 地域おこし協力隊



山形県大江町に行ってきました



D-1グランプリに出場します！



10月3日、4日と、山形県大江町にて、道志村で自分たちが行っている林業や薪ボイラーの取り組みについて発表を行い、木材の搬出講習を実施してきました。

朝日連峰の麓にある大江町は人口9千人。広葉樹と針葉樹の混合林が迎えてくれました。大江町の奥にある「七軒」という集落に在住する林業家の方々と交流する貴重な機会でした。この地区に高校生は1人しかいません。イベントには県職員の方も多く訪れ、意識の高さを感じました。山形でも、人口減少対策と若者が定着するための仕事づくりは、重要な課題となっています。僕も道志村の取り組みが参考になれば、嬉しいです。(大野航輔)

この広報が発行される日になってしまいますが10月31日と11月1日に行われるD-1グランプリに今年も出場します。道志の新名物になるような商品アイデアを今年も一生懸命考えてグランプリに挑みます。一昨年は「的様コーヒーゼリー」、

去年は「試切石コロツケ」という道志村の観光名所をモチーフにした商品を出品しましたが、惜しくもグランプリにはなれなかったため、協力隊最後の年にグランプリを目指して頑張ります。

皆さんが楽しくなるような商品作りを心がけていますので、ぜひ応援をお願いします。そして道の駅のD-1グランプリに遊びに来てください。お待ちしております。(井口陽介)

## 「水」を通じた縁

道志村と横浜市は水を通じた深いつながりがあります。そのつながりがきっかけとなり、10月23日に『道志村秋の清流の集い』と題したイベントが開催されました。「道志の魅力を横浜の人に伝えたい」と(株)横浜ビールさんの熱意が生んだイベントでした。

当日は道志村の様々な食材が素敵な料理となって並び、横浜のみなさんに食を通して村の紹介をすることができました。食材の調達に際して、多くの方のお世話になりました。わがまを聞いてくださりありがとうございました。ありがとうございました。

このイベントから改めて道志村の持つ横浜とのつながりという大きな魅力を感じました。大都市横浜のみなさんが道志村を想ってくれている。とても嬉しくなる出来事でした。

(中島拓哉)



## 「道」志手帖」に連載の集落地

図は私の住む久保地区(月夜野(大室指)の6つの集落に加え、上にある長又、板橋の合計8つの集落を描きました。歩き、写真を撮り、スケッチし、人に話を聞き、文献を読み、自分なりに思いを込めて描いてきた原画8枚をクラフトフェアと文化祭で披露させて頂きました。集落絵地図以外にも道志川の絵地図など描きたい題材はあるのですが、任期中に描けるのはあと二回。ここは欲張らず、集落絵地図を描きたいと思います。27の自治体のうち、真ん中あたりを描いていないので竹之本、馬場が候補です。



10月13日、都留文科大学の講義に呼んで頂き、協力隊の活動についてお話ししました。うまく伝えられたかどうか心配でしたが、頂いた1人ひとりの感想を読むと、話の中身への関心が感じられる嬉しい内容ばかりで、協力隊をやっている良かったなと思いました。また任期後の報告が出来るよう、頑張らなければならないと思います。(香西恵)



(17)